



金沢 和子

かなざわ

かずこ

日本共産党

プロフィール

1969年千葉県生まれ。駒澤大学仏教学部仏教学科卒業。1997年の市議会議員補欠選挙で初当選。現在、5期目。文教常任委員、船橋市農業委員会委員。船橋市夏見在住。

生活相談を
担当する地域

夏見、夏見台、夏見町、米ヶ崎町、金杉、金杉台、金杉町、緑台、高根町、南三咲1～3丁目(いづみハイツ除く)、三咲1丁目、二和東1～2丁目、行田、行田町、前貝塚町

日本共産党市議会議員

みなさんと力を合わせ 希望を実現する議席

市議団のみなさんと 一緒にがんばります



4月に行われる「いっせい地方選挙」は、私たちの暮らしを左右する県政や市政そのものが問われる大事な選挙です。同時に、戦争か平和かが正面から問われる選挙になっています。いまの森田県政は「巨大開発の無駄づかい中心、福祉切り捨て」という今までの自民党型県政をそのまま引き継いで加速させるとともに、安倍政権と同じ戦争推進の姿勢を、県議会の自民党と一緒に県政に持ち込もうとしています。

そういう県政を変え、県民の立場に立った県政にしていくために、金沢和子市議と一緒に全力をあげる決意です。

日本共産党 千葉県議会議員 丸山真一

葛南教育事務所で通級指導教室について要望

ADHD(注意欠陥多動性障害)やLD(学習障害)などの子を持つ保護者の方々と、千葉県葛南教育事務所(船橋市など5市を管轄している県教育庁の出先機関)で、通級指導教室の見通しなどについて話を聞いています。実際に、通級指導教室を利用している子どもの保護者も参加し、「担任の先生に理解されないことがある」など、実情や要望を伝えています。



ごあいさつ

97年の初当選以来、5期17年間、子育て支援や、高齢者福祉の充実、障害児の教育環境の充実、まちづくりなど、さまざまな問題を皆さんと一緒に取り組んできました。昨年12月に発足した第3次安倍政権は、暮らしと福祉の予算を削減するどころか、今度は、憲法の改定までねらっています。戦争のない、平和な国であることこそ、福祉の基本ではないでしょうか。

日本を再び戦争をする国にするのではなく、憲法9条を守り、住民の命と暮らしが大切にされる船橋市をめざします。

葛南土木事務所から 主要事業の聞き取り

千葉県葛南土木事務所から、船橋市内の道路の歩道整備や河川改修など、主要事業について聞き取りを行っています。

船橋市議団からも市議が参加し、県道の危険箇所や水害の実態などを事業に反映させています。



新しい船橋

2015年2月 号外 日本共産党千葉県西部地区委員会発行
船橋市二和東6-41-20 電話 047-440-5240 / FAX 047-449-7004
日本共産党船橋市委員会の見解を紹介します。みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

東日本大震災から4年。石巻市でのボランティア活動が、災害対策への取り組みの原点です。土地の履歴や、地域の特性を無視した「まちづくり」では市民の命は守れません。がけ地の土砂災害対策、雨水貯留施設の増設や河川の整備によるゲリラ豪雨対策、市内公共施設の耐震補強工事の促進に、引き続き力を尽くします。(写真協力：鈴木純平さん)

昨

現在、船橋市農業委員会の選任委員として、活動しています。写真は、農業振興地域の農地ですが、一面、つる草に覆われて、耕した形跡がありません。こうした農地は年々、増加傾向にあります。主な原因は、農家の高齢化や、農業の担い手不足です。農地の確保は、食の安全や水害対策、地域環境の保全にも欠かせません。国任せにするのではなく、地方自治体としても、個人経営の農家を支えることを提案しています。

障害を持つ子どもたちが安心して学べる環境を作るために、保護者の皆さんと一緒に取り組んでいます。特別支援学校の教室不足、特別支援学級や通級指導教室の増設などを進めています。

写真は、特別支援学校の小等部で、2年生が使用している教室。普通学級用の教室を半分にして、2クラスが活用していますが、高学年になると、半分のスペースでは足りません。この子達が高学年になるまでに、教室増設が急がれます。

